

みんなで創ろう

東京2025 デフリンピックに学ぶ、 これからの大会運営と 共生社会



元東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

Village General Manager (VGM)

東京2025デフリンピック準備運営本部

Chief Operating Officer(COO)

北島 隆

デフリンピックってどんな大会

国際オリンピック委員会が認めた「〇〇〇ピック」と名のれる国際的スポーツ大会

オリンピック

スポーツを通じた人間育成と
世界平和を究極の目的とした
世界的なスポーツの祭典

- 期間： 17日間
- 参加国： 約200か国・地域
- 各国選手団数： 18,000人
- 競技数： 33競技
- 第1回大会： 1896年

パラリンピック

「人を勇気づける」というムーブ
メントを目指した身体障害者の
総合スポーツ大会

- 期間： 13日間
- 参加国： 約170か国・地域
- 各国選手団数： 12,000人
- 競技数： 22競技
- 第1回大会： 1948年

デフリンピック

耳がきこえない、きこえにくい
アスリートによる国際総合ス
ポーツ競技大会

- 期間： 12日間
- 参加国： 約80か国・地域
- 各国選手団数： 6,000人
- 競技数： 21競技
- 第1回大会： 1924年

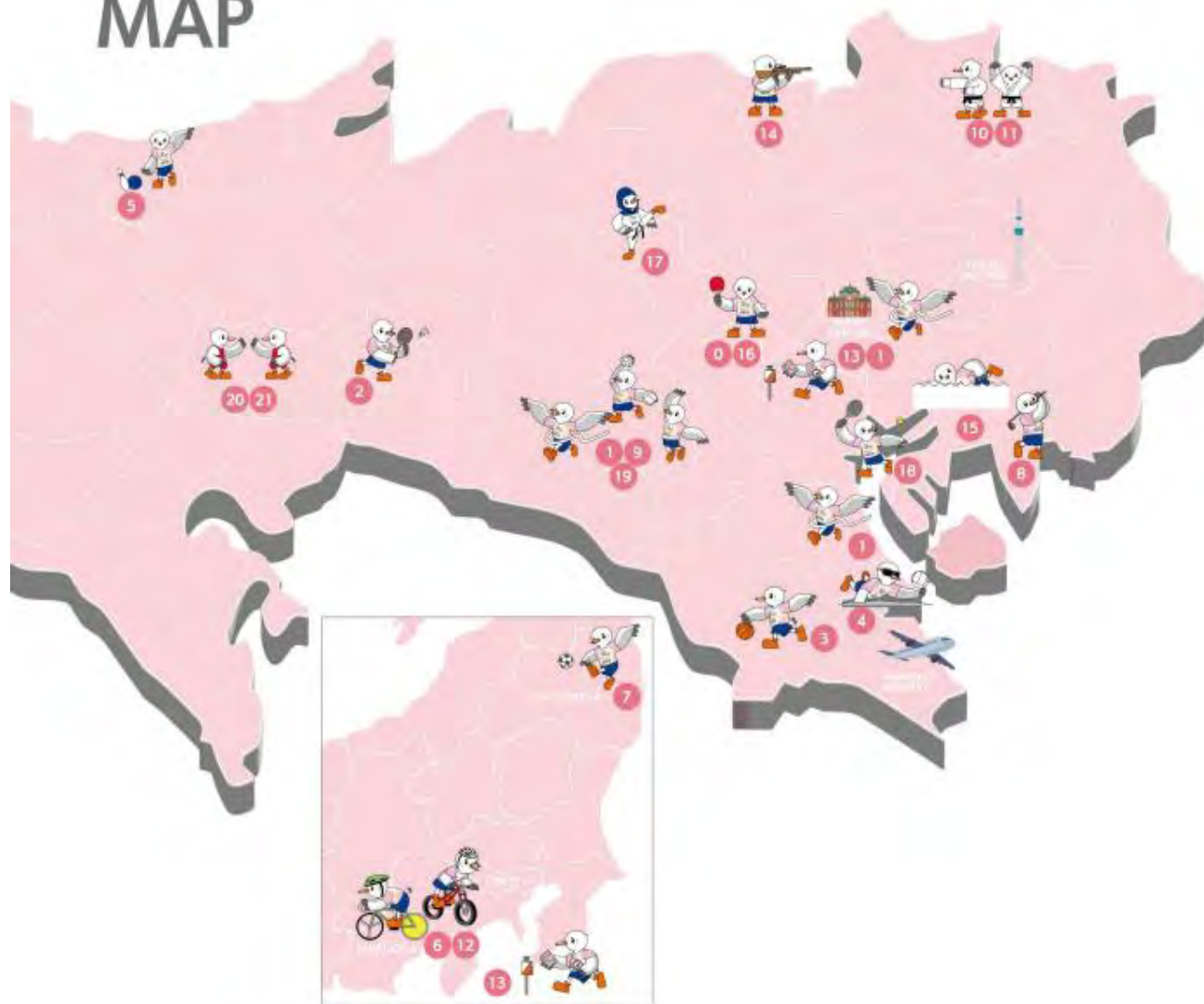


大会概要

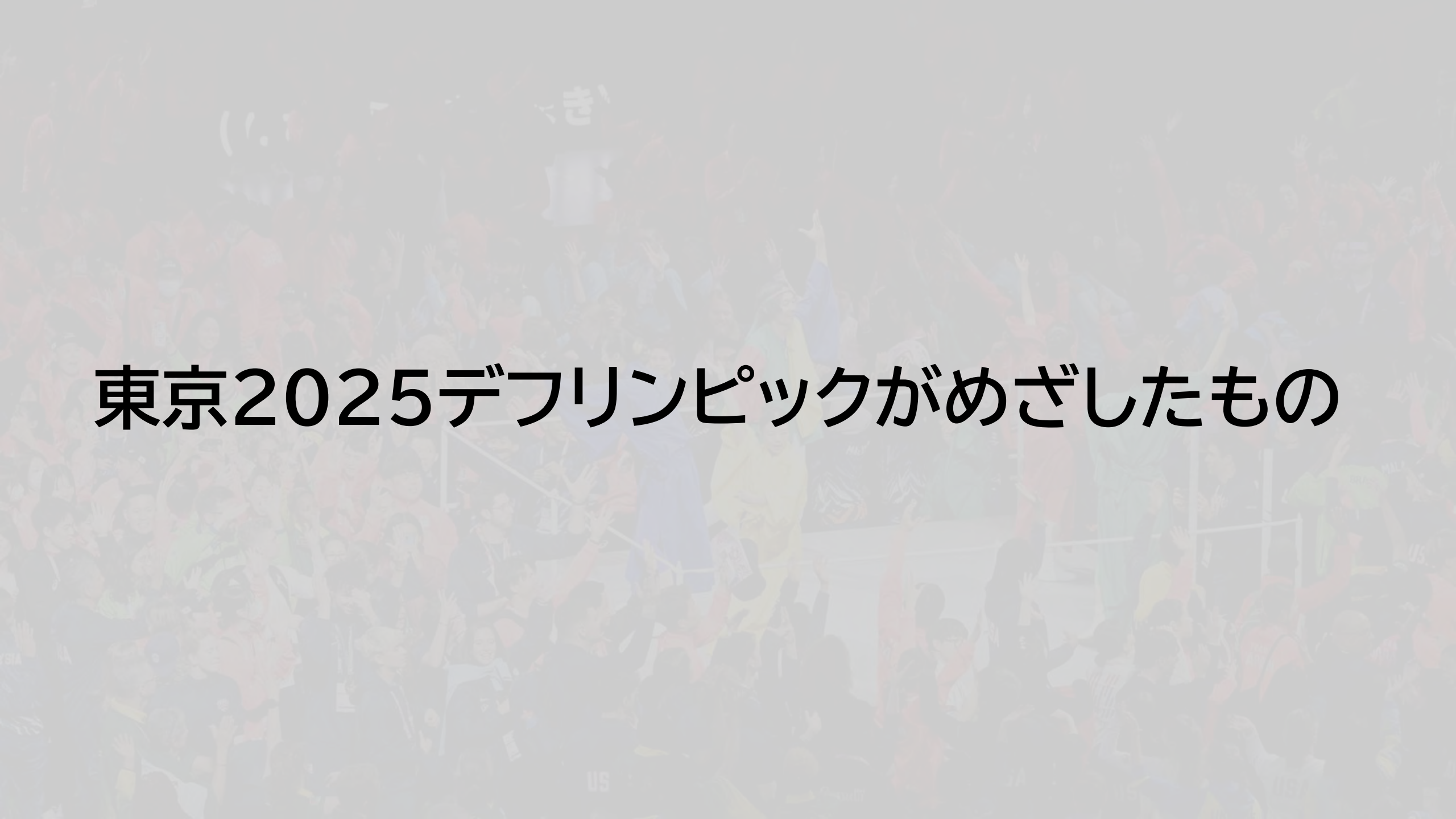
- 大会名称 : 第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025(正式名称)
東京2025デフリンピック(略称)
- 開催期間 : 2025年11月15日(土)から26日(水)まで12日間
- 競技・種目数 : 21競技・209種目
- 参加国・地域 : 79か国・地域等
- 参加選手数 : 2,943名
- 競技会場数 : 21会場(東京都、福島県、静岡県)

競技会場(MAP)

MAP



	競技名	会場
0	開会式／閉会式	東京体育館
1	陸上競技	駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場
1	陸上競技(マラソン)	東京高速道路および首都高速道路高速八重洲線の一部
1	陸上競技(ハンマー投)	大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場
2	バトミントン	京王アリーナTOKYO(武蔵野の森総合スポーツプラザ)
3	バスケットボール	大田区総合体育館
4	ビーチバレーボール	大森ふるさとの浜辺公園
5	ボウリング	東大和グランドボウル
6	自転車競技(ロード)	日本サイクルスポーツセンター
7	サッカー	Jヴィレッジ
8	ゴルフ	若洲ゴルフリンクス
9	ハンドボール	駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場
10	柔道	東京武道館
11	空手	東京武道館
12	自転車競技(マウンテンバイク)	日本サイクルスポーツセンター
13	オリエンテーリング	日比谷公園・日比谷エリア、伊豆大島(裏砂漠)
14	射撃	味の素ナショナルトレーニングセンター・イースト
15	水泳	東京アクアティクスセンター
16	卓球	東京体育館
17	テコンドー	中野区立総合体育館
18	テニス	有明テニスの森
19	バレーボール	駒技オリンピック公園総合運動場体育館
20	レスリング(フリースタイル)	府中市立総合体育館
21	レスリング(グレコローマン)	府中市立総合体育館

A large, vibrant crowd of people cheering with their arms raised at a sports event. The background is a faded, high-angle shot of a stadium filled with spectators. Many people are wearing team colors or national flags, and their arms are raised in the air, suggesting a moment of celebration or a significant play. The overall atmosphere is one of excitement and unity.

東京2025デフリンピックがめざしたもの

東京2025デフリンピック 大会ビジョン

1

デフスポーツの
魅力や価値を伝え
人々や社会とつなぐ

2

世界に、
そして未来に
つながる大会へ

3

‘誰もが個性を活かし
力を発揮できる’
共生社会の実現

東京2025デフリンピックを通してめざしたもの

みんなが つながる

- ・ 情報保障やコミュニケーションの充実
- ・ 新しい技術の開発
- ・ 大会の技術活用状況などの発信



こどもたちが 夢をみる

- ・ 大会を通じた学び
- ・ またとない経験をこどもたちに



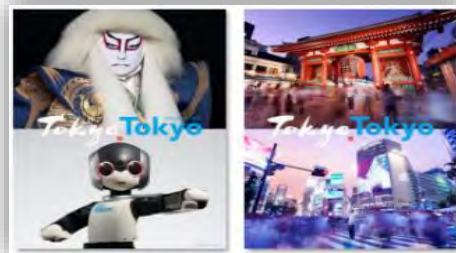
みんなで 創る

- ・ 様々な連携
- ・ 多様な人々の参画



世界の人々が出会う

- ・ 様々なおもてなし
- ・ 大会を彩る取組



未来へ つなぐ

- ・ 共生社会の大切さを学ぶ
- ・ 環境への配慮



「シンプルで心に残る大会」をめざすとともに、全ての人が輝くインクルーシブな街・東京の実現に貢献

パラリンピック開催による共生社会の実現

- パラアスリートの競技が多くの人々の目に触れ、多様性の意識を醸成
- 競技に加え、パラリンピックの開閉会式も多様性に向けたメッセージを発出
- D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)の浸透
- パラスポーツの環境整備への理解、支持の増加
- 自治体等における街のバリアフリー化

東京2020大会のD&Iアクションワード

**Know Differences,
Show Differences.**

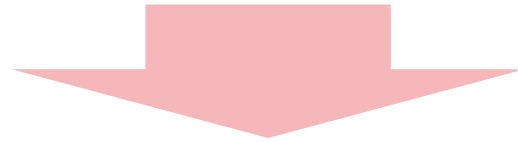
ちがいを知り、ちがいを示す。

道路の段差の解消やスロープの設置が当たり前

➡ **ハード面でのバリアフリーが実現**

東京2025デフリンピックを通してめざしたもの

- デフアスリートの競技が多くの人々の目に触れ、見えざる障害であるデフまで意識を深めることにつなげ多様性のさらなる醸成
- 競技に加え、開閉会式でも、ろう文化の素晴らしさのメッセージを発出
- 様々な場面で、情報保障やコミュニケーションの充実
- デフスポーツの環境整備への理解、支持の増加

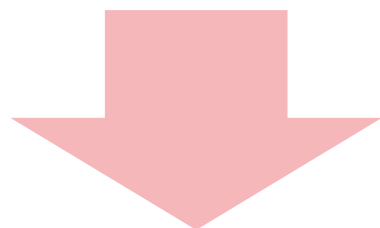


『誰もがストレスなくコミュニケーションできる』が当たり前に

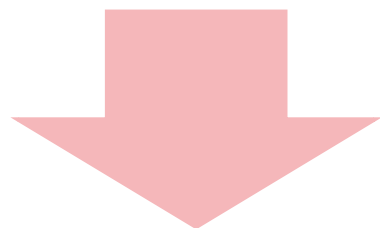
➡ ソフト面でのバリアフリーの実現を！

これまでの取組み

多くの人が、D&Iの種をまき、水をやってきた



なかなか、芽が出ない、出にくかった



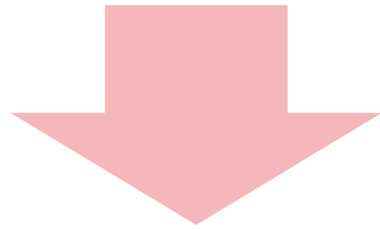
コンクリートの上に、種をまき、水をやってきていたから

➡ **芽が出る環境が整っていなかった**



東京2025デフリンピックで目指したもの

東京大会でD&Iの花を咲かせ、実を収穫するのは困難



大会を通じて芽が出やすい環境を作ること



人の心や意識、様々な仕組みを耕すこと

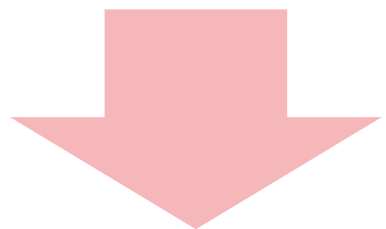


➡ **種が育つ「肥沃な土」を創ることが目標**

みんなで創る

花を咲かせ、実を収穫するのは、10年後、20年後。

大会の会場だけの土が耕せても「植木鉢21個分」



東京2025デフリンピックで、どれだけ多くの人が、
一緒に土を耕してくれるかが、

種が育つ土地の面積を広げることになる！

東京2025デフリンピックが耕した成果

多くの方が来場・観戦



競技会場

281,235人

デフリンピックスクエア

57,168人

子供観戦

約50,000人

※全来場者数の内数
※数値は延べ数

日本選手の活躍・大会の記録



- 日本メダル獲得数(過去最高)
51個(金:16、銀:12、銅:23)
- 世界デフ新記録
53件
- デフリンピック新記録
78件

メディアや多くの方からの注目



メディア取材数

(競技会場のみ・数値は延べ数)

2,481媒体 3,976人

競技動画再生数

(11月27日15時時点)

3,245,533回

SNS登録者数

(12月1日時点)

X: 5,350人

Instagram: 25,285人

YouTube: 36,800人

様々な方からの支え



ボランティア 2,959人

サポートスタッフ(筑波技術大学・協賛者) 706人

手話言語通訳者 241人

(国際手話 100人、日本手話言語 141人)

協賛者 合計160者

協賛者の皆様の支え



ブース出展

17会場40者

優先観客席（競技会場）

70者144名

優先観客席（開会式・閉会式）

64者121名

ロゴボード・会見バックボード

全会場に掲出

協賛の状況一覧

I 公表済（160者167件）

トータルサポートメンバー（94者） 1/2

株式会社はとバス	株式会社読売新聞東京本社	ソフトバンク株式会社	公益財団法人山田昇記念財団
株式会社光文堂インターナショナル	株式会社朝日新聞社	株式会社INPEX	株式会社オリエントコーポレーション
株式会社ゼンリンデータコム	株式会社アシックス	東京地下鉄株式会社	東京パワーテクノロジー株式会社
株式会社ジェイ・ブロード	株式会社TBSホールディングス	社会福祉法人友愛十字会	大塚製薬株式会社
リオン株式会社	S M B C日興証券株式会社	日興アセットマネジメント株式会社	塩野義製薬株式会社
住友電設株式会社	ケイアイスター不動産株式会社	東京メトロポリタンテレビジョン株式会社	株式会社フジミインコーポレーテッド
アデッソ株式会社	株式会社アイシン	株式会社Asian Bridge	文化シャッター株式会社
株式会社ジャパンディスプレイ	東日本旅客鉄道株式会社	株式会社大林組	株式会社スーパーアルプス
株式会社リードビジョン	株式会社T Bグループ	デマント・ジャパン株式会社	株式会社博報堂テクノロジーズ
岡山放送株式会社	株式会社T O W A	株式会社ウォーターネット	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
アマゾンジャパン合同会社	東京新聞（株式会社中日新聞社東京本社）	株式会社オープンハウスグループ	株式会社博報堂D Yアイ・オー
株式会社 JTB	太平電業株式会社	株式会社日本コクレア	一般財団法人日本財団電話リレーサービス

協賛の状況一覧

I 公表済（160者167件）

トータルサポートメンバー（94者） 2/2

株式会社ニシ・スポーツ	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	小田急電鉄株式会社	公益社団法人東京都鍼灸師会
日本郵政株式会社	清水建設株式会社	Coltテクノロジーサービス株式会社	株式会社東京交通会館
トヨタ自動車株式会社	野村ホールディングス株式会社	ダイタンホールディングス株式会社	京王電鉄株式会社
一般社団法人東京地区ライオンズ	株式会社TOKYO TOWER	株式会社みずほ銀行	巴山建設株式会社
一般社団法人ミス日本協会	LINEヤフー株式会社	スターバックスコーヒージャパン株式会社	パナソニックコネクト株式会社
日本卓球株式会社	ヨネックス株式会社	富士通株式会社	東急電鉄株式会社
ダイダン株式会社	独立行政法人都市再生機構東日本都市再生本部	株式会社ヨコブリシ	一般社団法人ことばインターナショナル
株式会社 帝国ホテル	株式会社マツキヨココカラ&カンパニー	有限会社エピスタ	株式会社日本経済新聞社
渥美坂井法律事務所・外国法共同事業	一般社団法人アスリートネイル協会	ビュージックスジャパン株式会社	株式会社フジテレビジョン
株式会社サンケイリビング新聞社	三井不動産株式会社	西武レクリエーション株式会社	MSD株式会社
三井住友トラストグループ株式会社	一般社団法人日比谷エリアマネジメント	西武鉄道株式会社	
東武タワースカイツリー株式会社	株式会社リオネットセンター城南	FILLTUNE株式会社	

協賛の状況一覧

ゲームズサポートメンバー（52者）

企業・団体名	競技	企業・団体名	競技	企業・団体名	競技
株式会社キャスト・ワークス	サッカー	株式会社ニシ・スポーツ	陸上	株式会社ポピンズエデュケア	ビーチバレーボール
株式会社ティーケーラボ	サッカー	東京都農業協同組合中央会	陸上	大東紡エステート株式会社	自転車
えびすや土産店	オリエンテーリング	株式会社キザシオ	陸上・水泳・卓球	ベーカー&マッケンジー法律事務所 （外国法共同事業）	陸上・バスケットボール・ サッカー・ゴルフ・テニス
太平電業株式会社	陸上・卓球	株式会社エムゴールド	陸上・水泳		
株式会社カインズ	バスケットボール	東京ボウリング場協会	ボウリング	株式会社コヤマドライビングスクール	ビーチバレーボール
株式会社CCCMKホールディングス	サッカー	清水建設株式会社	バレーボール	合同会社StudioKAI	卓球
株式会社リコー	陸上・バスケットボール・ バレーボール	株式会社小糸製作所	陸上・水泳	一般社団法人日本スポーツ歯科医学会	空手
住友電設株式会社	卓球・サッカー バレーボール	ヨネックス株式会社	バドミントン・ テニス	祥恵株式会社	バドミントン
株式会社鼓月	陸上	A K コーポレーション株式会社	陸上	When I was young株式会社	バドミントン・サッカー・ 卓球
東京パワーテクノロジー株式会社	陸上・サッカー	みずほ信託銀行株式会社	柔道	株式会社グランバー東京ラスク	自転車
ライフネット生命保険株式会社	陸上	伊豆箱根鉄道株式会社	自転車	サントリーホールディングス株式会社	バレーボール
株式会社岩手リオン補聴器センター	サッカー	メリダジャパン株式会社	自転車	株式会社ArtSpaceDragonFly	陸上
日機通商株式会社	サッカー	Hapbeat合同会社	柔道	株式会社日立製作所	陸上・バスケットボール
株式会社マルズ	サッカー	株式会社方角	バドミントン・卓球	東急リバブル株式会社	卓球
山崎製パン株式会社	陸上	平林金属株式会社	陸上	株式会社ハイレゾ	バドミントン
サノフィ株式会社	陸上	株式会社CCHサウンド	ゴルフ	株式会社NTTコノキュー	陸上・水泳・ バレーボール
戸田ビルパートナーズ株式会社	陸上	株式会社アイエスゲート	陸上		
SBI損害保険株式会社	サッカー	株式会社モリタ製作所	バレーボール	コンパスグループ・ジャパン株式会社	陸上

協賛の状況一覧

みるTechサポートメンバー（21者）

株式会社オリィ研究所	株式会社スマートスタート	タクタス
サイナーズ株式会社	株式会社ロジシティ	クラスター株式会社
一般社団法人ハートウェアラボ	Hapbeat合同会社	ソニーグループ株式会社
Insta Chord 株式会社	一般社団法人日本eスポーツ協会	株式会社meleap
ハロームービー株式会社	株式会社EG	SoundUDコンソーシアム （事務局：ヤマハ株式会社）
株式会社POCKET RD	LiNKX株式会社	株式会社シー・エヌ・エス
株式会社オンテロープ	株式会社日伸	株式会社ラディックス

※トータル・ゲームズ・みるTechの複数カテゴリーで協賛している企業等があるため、合計は160者となる。

デフリンピック認知度



出典：「都民のスポーツ活動に関する実態調査」

特徴的な大会運営ポイント

手話言語通訳者

■ 国際手話通訳者、日本手話言語通訳者の確保・調整状況

- ・役割分担に基づき、ろうあ連盟が手話言語通訳者を**育成するため養成研修を実施**
- ・国際手話通訳者（約100名）、日本手話言語通訳者（約140名）
あわせて**約 2 4 0 名程度が活動**

■ 手話通訳者の特徴的な対応場面

- ・競技会場等での通訳
(SD調整、技術会議、表彰式、競技映像配信等)
- ・開閉会式会場での通訳（壇上対応、VIP対応サポート等）
- ・デフリンピックスクエアでの通訳（団長会議、記者会見等）



大会サポートスタッフ

■ 筑波技術大学

- ・日本で唯一の聴覚障害者を対象とした
筑波技術大学と連携協定を締結
- ・**大会前**、ボランティア向けの研修動画や
大会のPR動画の作成に関与
- ・大会中は、**休学期間とし、98人の学生が運営に参加**

■ 協賛企業

- ・**協賛企業からの要望**を踏まえ
協賛特典として大会サポートスタッフの枠組みを構築した
- ・協賛企業からの関心は高く、**約600人の社員が参加した**



UC（ユニバーサルコミュニケーション）の技術の活用

■ デジタル技術を活用した情報保障

選手・観客への情報保障を充実のため、

会場アナウンスを日英字幕でビジョンに表示

透明ディスプレイやタブレットによる多言語による案内など



■ 「競技音」を目で見て体感

最新技術を競技観戦で活用した。

競技音や歓声を視覚的に体感できる「ミルオト」

競技解説をメガネ型デバイスに表示する「スマートグラス」など



■ 「みるTech」の開催

デフリンピックスクエアでは、UC技術のショーケーシングである「みるTech」を開催。**UC技術の有用性をPR。**



ユニバーサルチャットボードの開発

- **アイコンを指差す**ことでコミュニケーションを図る
「ユニバーサル・チャットボード」を制作・配布
- 若手職員を中心に都聴覚障害者連盟やデフアスリート入れたPTを立上げ、**きこえる人ときこえない人が共同制作**
- 大会中・前後で、各国選手団、審判、運営スタッフ、ボランティア、**競技会場近隣店舗**などで活用。



A4厚紙版 →

← A6四折り版



リエゾン・選手団問合せ窓口の設置

■ リエゾンの設置

- ・ 各国選手団との連絡をサポートするため**選手団に「リエゾン」を帯同**
 - ・ 主要 **7 言語対応**（英語・スペイン語・アラビア語・フランス語・中国語・ポルトガル語・ドイツ語）
- ➡ 選手団への連絡だけでなく、**日本の文化や生活に関する情報**等を現場で直接提供



■ 選手団問合せ窓口の設置

- ・ MOC内に**多言語対応の「選手団問合せ窓口」**を設置
 - ・ 英語、スペイン語、ポルトガル語、国際手話、日本手話の通訳配置
- ➡ 二つの業務の一体的運用のため一括委託として発注し、選手団からの**要望などの一元管理**ができた



子供の参画（大会前）



■ 大会エンブレム

エンブレム制作に**こどもたちが参画**

- ・ デザイン案は、筑波技術大学の学生が制作
- ・ 都内の中高生の投票によりデザインを決定



■ メダルデザイン

全国の小中高生によるオンライン**投票**で決定

（総投票数: 8万543票 2024年11月15日 発表）



メダルデザイン候補

子供の参画（大会時）

■ 子ども観戦

- ・都内の小中高校・特別支援学校等に、**観戦の機会を提供**
- ・サインエールなど、**デフスポーツを感じられるよう工夫**
- ・**UC技術への理解**を深める機会も提供



■ ろう学校の子供たちの特別な参画

- ・ろう学校の子供たちに、参画の機会を提供

＜実施内容＞

- * 表彰式の**トレイベアラー**
- * 選手入場時の**ハイタッチ・エスコート**





- きこえない・きこえるに関わらず、誰もが一緒に視覚的に応援を届けることができる「サインエール」を**ろう者やデフアスリートとともに開発**
- 応援を先導する**サインエール応援団を結成**、日本代表が出場する試合や決勝戦を中心に、各会場でサインエールを展開して、会場全体を盛り上げ、選手の活躍を後押し
- 応援がメディア等で発信、**大きなムーブメントに**



A large crowd of people, mostly young adults, are shown from the chest up, reaching their arms forward and upward in a gesture of cheering or support. They are wearing a mix of blue and white clothing. The background is a bright, slightly hazy sky.

喜びな1世界に
届く応援

44-E-I-L

TOKYO FORWARD 2025

サインエールの基本要素

▷ 基本要素①：『行け！』



両手を顔の横でひらひらさせる



両手を勢いよく前に動かす

▷ 基本要素②：『大丈夫 勝つ！』



右手を開いた状態で胸に当てる



横にスライドさせた後、
拳を握る



ここまです
左手でも同様に
繰り返す



ガッツポーズをするように
両拳を前に強く出す

▷ 基本要素③：『日本 メダルを つかみ取れ！』



両手でひし形を作る



左手は地面と水平に置き、
右手は親指と人差し指で丸の形を作る



そのまま右手を
左手の下にくぐらせて上にあげる



右手を掲げた位置で
掴みとるような動作をする

飲食の提供

アレルギー対応のほか、ムスリムフレンドリー、ベジタリアン等にも対応
競技会場の特性に合わせて、きめ細かい対応を行った。

■ 協賛企業の協力等により補食を提供

バナナ（約42,000本）、エナジーバー（約63,000本）
惣菜パン（約36,000個）、インスタントラーメン等（約27,000食）
ペットボトル飲料（約170,000本）

■ 飲食の提供

- ・ 競技会場周辺での飲食購入店舗のマップ表示
- ・ 近隣に店舗がない場合はキッチンカーを配置
- ・ 競技対応で、**輸送拠点において早朝・深夜食ケータリング**を用意

■ 交流の場

- ・ デブリンピックスクエアでの補食提供場所は、**交流の場としても活用**



競技観戦

- 競技会場への**入場は無料**(射撃会場を除く)
- Youtubeにて**全競技の映像を配信**(約320万回再生)
- **競技観戦ガイド**の作成
- ホームページで、観戦情報をわかりやすく提供



競技観戦（ホームページ）

■ 大会特設ページを作成

- ①競技観戦ガイド ②競技日程 ③**会場の混雑状況**
- ④**競技動画配信（YouTube）** ⑤**ハイライト映像**
- ⑥**対戦の組み合わせ**と競技結果 ⑦デフスクエア



メディア関係

■ メディアガイドの作成

- ・ **競技特性に合わせた取材**の実現のため
各競技会場の取材要項を掲載
- ・ デファスリートへの配慮、円滑な取材機会の提供
- ・ 文化や情報技術に関する取組の紹介など、
取材のきっかけとなる内容を盛り込む

■ 記者会見等

・ 大会前

メディア向け説明会を実施。

サービスレベル、各自治体の取組み、協賛企業の支援内容などを発信

・ 期間中

公式記者会見を3回開催。運営状況報告に加えて、**大会を支える人々の活動を発信**



【例】水泳：東京アクアティクスセンター

会場装飾（ルック）

■ 会場装飾のコンセプト

- ・大会カラーの**桜色を基調**とした競技会場を彩る装飾のデザイン・制作
- ・各会場における装飾物の統一感・一体感を確保するため
バナー、リストバンドなど多様なツールの**デザインルールや仕様を統一**
- ・**同一規格のバナー等を複数作り**、各会場に提供することにより、
単価を抑えた会場装飾が可能になった
- ・各会場に大会を象徴するようなフотスポットを作成することにより、
会場ごとの特別感も演出



協賛

■ 協賛者確保

- ・ **広告代理店を利用せず**、セールスシート、訪問企業等の選定など全て事業団職員が実施
- ・ 一般的な広告効果が見込まれないため、**デフリンピックの開催理念を丁寧に説明**し、共生社会の実現などの理念に賛同してくれた企業等が160者の協賛を得た
- ・ 金銭の協賛だけでなく、**様々な形での支援**を受け入れることで、協賛の輪を広げた

募集カテゴリ名称	区分	大会呼称・エンブレム使用	企業ロゴ・広告等の掲載
トータルサポート・メンバー (大会運営全体に対する御協賛)	1億円(相当)以上	全ての協賛企業等は、大会呼称「東京2025デフリンピック」並びに大会及びデフリンピックマークの使用が可	開閉会式会場のほか、すべての競技会場において、区分に応じて、企業ロゴの掲出や広告等の掲載を実施
	5,000万円(相当)以上		
	1,000万円(相当)以上		
	100万円(相当)以上		
ゲームズサポート・メンバー (御希望の競技のみに対する御協賛)	300万円(相当)以上	 	協賛企業が指定する特定の会場において、区分に応じて、企業ロゴの掲出や広告等の掲載を実施
	100万円(相当)以上		
	50万円(相当)以上		
	50万円(相当)未満		

大会への支援内容

■ 物品提供

ボランティアウェア、競技用品、通信機器、食品、飲料 等

■ 施設提供

競技会場、イベントスペース 等

■ 役務提供

選手向けサービス、運営サポート 等

■ デフリンピックのPR

新聞広告、ビジョン、CM、ライトアップ 等

具体的な支援事例



具体的な支援事例



具体的な支援事例



デフリンピックスクエア

～共生社会が実現された未来を感じさせる場～

デフリンピックスクエアとは

大会運営拠点と文化発信拠点の2つの機能を集約

運営機能：大会運営本部や輸送拠点、メディアセンター等

文化発信機能：ろう者の文化への理解を深め、東京の魅力を体験できる取組等

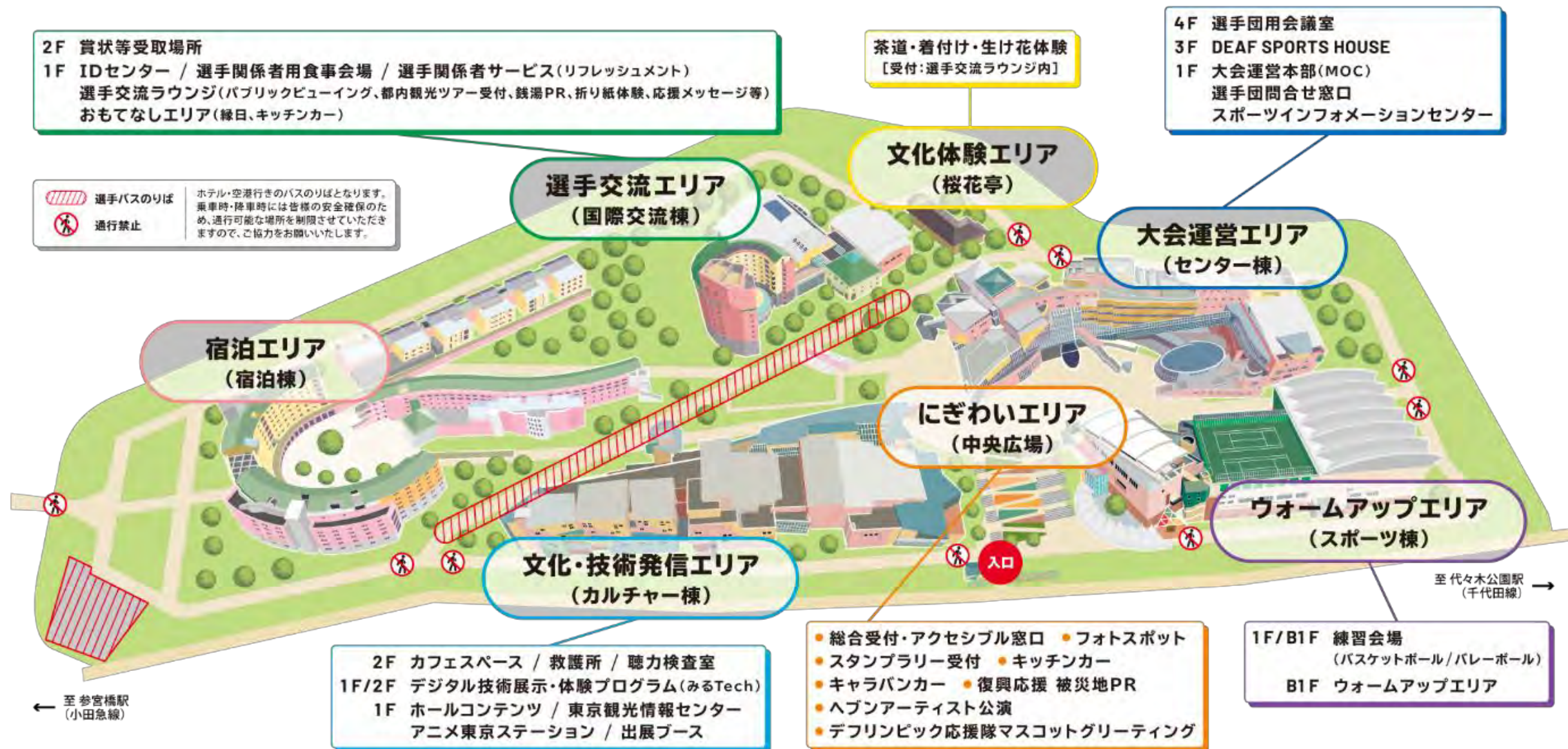


共生社会が実現された「未来」を感じさせる空間を創出

デフリンピックスクエアの様子



全体MAP



デフリンピックスクエア運営のコンセプト①

○大会運営拠点

- ・ **様々な形で情報保障**を実施
 - ➡ホールコンテンツや記者会見場での手話言語及び日英字幕の投影
UC技術の活用、ユニバーサル・チャットボードの活用など
- ・ 大会運営本部に加えて、関係者と**いつでもすぐに連携を取れる体制**を整備
 - ➡ICSD、全日本ろうあ連盟、東京都の運営諸室を設置
- ・ 選手に対する**様々なサービスを一つの場所で受けられるよう**に準備
 - ➡輸送サービス、問い合わせ窓口、文化体験、リフレッシュメントの提供、
練習会場、ウォーミングアップエリアなど

デフリンピックスクエア運営のコンセプト②

○文化発信拠点

- ・きこえない・きこえにくい、性別、国籍に関わらず、**誰もが楽しみ交流できる場所を設置**
➡**全ての人が楽しめるカフェスペース**等を設置し選手と一般来場者との交流も生まれた
- ・**大会を象徴する仕掛け**を多く用意
➡エンブレムの**フォトスポット**や協賛者名を記した**提灯リコグニション**、**参加国国旗**の掲出
- ・多くの方に大会の盛り上がりやデフリンピック**スクエアの魅力を知っていただく企画**を実施
➡**メディア向け**にオープニングイベントやメディアツアーを実施
フォトスポットの写真を**SNSに投稿してくれた方**にノベルティをプレゼントする企画を実施
- ・デフリンピックスクエアの様々な**コンテンツを回遊させる企画**を実施
➡デフリンピックスクエア内の**スタンプラリー**を実施

大会運営エリア

- ・**大会運営本部**や選手団問合せ窓口、**メディアセンター**等を設置
- ・ICSDや全日本ろうあ連盟、東京都、都スポーツ文化事業団が**大会運営拠点として活動**
- ・デフスポーツやデフリンピック、ろう者の文化への理解を深めるとともに、交流を通じて選手を応援できる場として「**DEAF SPORTS HOUSE**（デフスポーツハウス）」を設置



大会運営本部



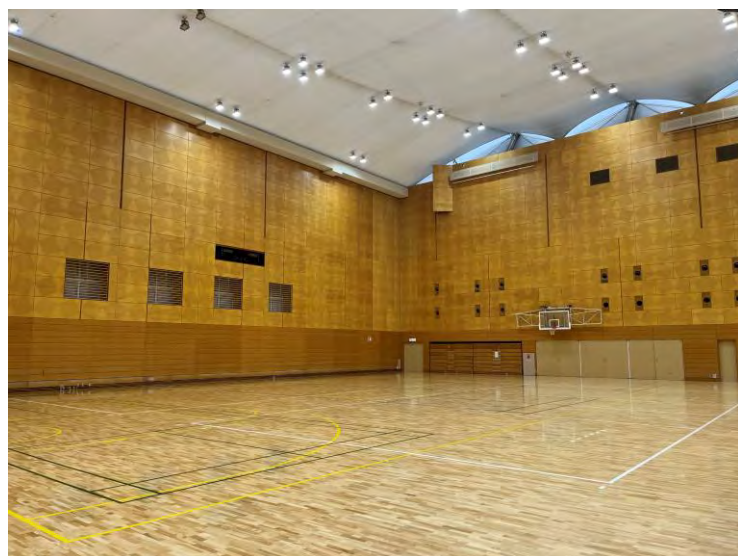
メディアセンター(記者会見場)



DEAF SPORTS HOUSE

ウォームアップエリア

- ・ 公式練習会場（バレーボール/バスケットボール）のほか
選手が万全のコンディションで試合に臨めるよう**コンディショニングエリアを用意**
- ・ ろう者の文化やデフスポーツへの理解を深めるため、
一般来場者向けの**デフスポーツ体験や子どもの体験活動を実施**



練習会場
(バスケットボール)



デフスポーツ体験
(デフサッカー)



子どもの体験活動

選手交流エリア

- ・ 選手同士が交流できるよう、パブリックビューイングや日本の伝統的な遊びを体験できる「**選手交流ラウンジ**」や、日本文化を体験できるよう「**おもてなしエリア**」を設置
- ・ 江戸から続く東京の文化の一つである「**銭湯PRブース**」や「**都内観光ツアー**」など様々なコンテンツを展開



パブリックビューイング



日本の伝統おもちゃ体験



日本の伝統おもちゃ体験

選手交流エリア(おもてなしエリア)



文化・技術発信エリア

- ・ろう者の文化や日本の伝統芸能の発信などを実施する「**ホールコンテンツ**」を用意
- ・誰もが気軽に楽しめる**デジタル技術を活用した展示・体験プログラム「みるTech」**を実施
- ・**カフェスペース**や**東京観光PRブース**、**アニメ展示**なども設置

ホールコンテンツ 場所：カルチャー・センター・ホール

11/15 土 きょう開幕！
魅力深掘りトークショー
15:00-16:00
日本初開催のデフリンピック。ゲストを招き、メダル期待の競技や選手についてトーク。手話パフォーマンス等手話の優美なパフォーマンスも。

11/16 日 みんなでアート
門秀彦さん×赤鼻クラウン
13:30-14:00
手話アートの第一人者、門秀彦さんによるライブペインティング。ろう者のパフォーマンスとコラボしながら、どんな作品を生み出すのか？

11/17 月 ヘブンアーチスト公演
カップバラエティーショー
19:00-19:30
5人の障害者スポーツ選手が世界チャンピオンがカップで演技を披露！

11/19 水 伝統芸
19:00-19:30
江戸前あやつり人形：350年程の歴史のある日本独自の系人形が舞う。

ジェントルマンジャグリング
19:30-20:00
Performer: バラダ：日常にあるモノを笑い、動きを結ぶジェントルマンジャグラー

デフリンピックスタジアムでは、日本の伝統芸能の発信、競技のパブリックビューイングなどの様々なコンテンツをお届けします。
※スケジュールは変更になる場合があります。※観覧料無料 ※定員になり次第、受付終了となります(先着順)

11/23 日 舞臺詩「田圃」
～語る、聴く、詩(うた)うへ～
公演1回 12:30-13:30
公演2回 15:00-16:00
きこえない・きこえにくい子孫たち等がパートナーシェン作劇6巻「田圃」を演劇や身体表現で豊かに伝えます。

11/24 月 視覚詩～四季のうつろいとデフリンピック～
19:00-19:45
手話エンターテイナーの原田晴恵さんが、身体動きや顔の表情で物語や風景を表現する唯一無二の「ビジュアルヴァナキュラー」パフォーマンスを披露。

11/24 月 デフW"あるある"劇場
～笑って学べる、ろう者の文化～
11:00-11:30
"あるある"でろう者の日常を楽しく伝え、人気を集めているろう者の喜劇お笑いコンビ「デフW」。今回、デフリンピックのためにスペシャル公演を用意！

11/25 火 世界に咲く笑いの華
～「手話狂宴」特別公演～
公演1回 17:00-17:45
公演2回 19:00-19:45
日本が誇る狂言と手話の豊かな表現力を併せて「手話狂宴」を、大会を彩る新しい演劇として世界に発信します。演目は、代表作の1つ「愚直(すみめり)」。



文化・技術発信エリア

【みるTech】



【カフェスペース】



【提灯リコグニション】



にぎわいエリア

- ・ 大会のエンブレムをモデルとした「**フォトスポット**」
- ・ デフリンピックスクエアに設置されたスタンプを探して集める「**スタンプラリー**」
- ・ 協賛企業等の取組や東北3県と能登の魅力を発信する「**ブース出展**」
- ・ 東京2025デフリンピック応援隊による「**マスコットグリーティング**」など様々な取組を展開



フォトスポット



スタンプラリー



マスコットグリーティング

文化体験エリア

- ・江戸東京の芸術文化を体験・体感する取組として、**茶道・着付け・生け花体験を実施**



着付け体験



茶道体験

最後に



大会を総括するコメント

ICSDアダム・コーサ会長のコメント (11/26記者会見)



東京大会は、ハイレベルの競技、また準備・設営という部分でもハイレベルな大会でした。

私たちICSDは、この大会に十分満足しています。

多くの競技関係者からも、すばらしい大会であったというコメントをもらいました。

10年後、20年後、社会が変わったきっかけが

数多くの人の協力により

「東京2025デフリンピック」だったねと、
言ってもらえるだけの多くの土が耕せたことに感謝

スポーツには社会を変える力ある!



TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS